

事務事業一覧表

施策コード	事業名称	部局名	所属名	ページ
32132	スポーツिंगシティまつやま推進事業	坂の上の雲まちづくり部	スポーツिंगシティ推進課	2
44211	松山市文化・スポーツ振興財団事業振興補助金	坂の上の雲まちづくり部	スポーツिंगシティ推進課	3
44211	文化スポーツ振興事業補助金	坂の上の雲まちづくり部	スポーツिंगシティ推進課	4
42211	市民スポーツ活動活性化事業	坂の上の雲まちづくり部	スポーツिंगシティ推進課	5
42211	社会体育振興事業	坂の上の雲まちづくり部	スポーツिंगシティ推進課	6
42213	総合コミュニティセンター管理運営事業	坂の上の雲まちづくり部	スポーツिंगシティ推進課	7
42213	総合コミュニティセンター建物改修事業	坂の上の雲まちづくり部	スポーツिंगシティ推進課	8
42213	野外活動センター管理運営事業	坂の上の雲まちづくり部	スポーツिंगシティ推進課	9
42213	スポーツセンター管理事業	坂の上の雲まちづくり部	スポーツिंगシティ推進課	10
42213	中島B&G海洋センター事業	坂の上の雲まちづくり部	スポーツिंगシティ推進課	11
42213	体育施設管理運営事業	坂の上の雲まちづくり部	スポーツिंगシティ推進課	12
42213	中央公園管理運営事業	坂の上の雲まちづくり部	スポーツिंगシティ推進課	13
42213	野球歴史資料館維持管理事業	坂の上の雲まちづくり部	スポーツिंगシティ推進課	14
42213	中央公園改修整備事業	坂の上の雲まちづくり部	スポーツिंगシティ推進課	15
42213	野外活動センター施設災害復旧事業	坂の上の雲まちづくり部	スポーツिंगシティ推進課	16
42221	スポーツ推進委員協議会運営事業	坂の上の雲まちづくり部	スポーツिंगシティ推進課	17
44212	ふるさと館管理運営事業	坂の上の雲まちづくり部	スポーツिंगシティ推進課	18
44212	市民会館管理運営事業	坂の上の雲まちづくり部	スポーツिंगシティ推進課	19
44212	市民会館改修事業	坂の上の雲まちづくり部	スポーツिंगシティ推進課	20

令和6年度 松山市事務事業シート（令和5年度実績分）

部局等名	坂の上の雲まちづくり部	課等名	スポーツिंगシティ推進課	担当G	スポーツ振興担当	連絡先	948-6889		
部長等名	佐伯 文男	課等長名	丹生谷 泰生	リーダー	大野 精毅	担当	天崎 誠	遠藤 雄	

1.事業概要【Plan】

事業名	スポーツिंगシティまつやま推進事業	事業性質	1-1:自治事務(実施規定なし)		事業区分	1:直営	
32132		各種計画該当	総合計画(実施計画)	総合計画(笑顔プログラム)	総合戦略	市長公約	
基本目標	地域の魅力・活力があふれるまち【産業・交流】		○	○	○	○	
政策	都市全体の価値や魅力を向上する						
施策	選ばれる都市づくり						
主な取組	スポーツによる地域活性化の推進	根拠法令					
取組みの柱	スポーツコンベンション等の誘致促進						
目的・背景	地域再生の一環として、『坂の上の雲』のまち再生計画』の目標に掲げる観光交流人口500万人から600万人への拡大に向け、スポーツを通じた交流人口の拡大や地域経済の活性化など、「スポーツで「ひと」、「まち」を元気にする!」という目的を掲げ、平成17年度から(財)地域総合整備財団の「地域再生マネージャー事業」を活用しスタートした。						
対象・内容	東京ヤクルトスワローズの公式戦及び秋季キャンプの継続誘致を行う。 地域に密着したプロスポーツ(愛媛FC、愛媛マンダリンパイレーツ、愛媛オレンジバイキングス)に関する情報発信及び集客支援を行う。 スポーツ大会・合宿等開催助成金を活用した、スポーツコンベンション誘致を図る。 大会や合宿誘致に向けたスポーツ情報サイトの運営管理を行う。 台北市との友好交流協定を基にしたスポーツ交流の推進を行う。 全国規模のスポーツ大会や合宿の運営協力及び誘致を行う。						

2. 事業実施【Do】

2. 事業実施【Do】		会計	一般会計	款	教育費	項	保険体育費	目	社会体育総務費
事業費／財源		令和4年度	令和5年度	令和6年度		主な 経費 (千円) 【R5 決算】	各種事業への負担金		16,619千円
予算 (千円)	事業費計	85,551	66,079	64,795			スポーツ大会・合宿等 開催助成金	4,022千円	
	国費・県費	11,650	0	0					
	市債	0	0	0					
	その他	10,220	220	220					
	一般財源	63,681	65,859	64,575		プロスポーツ団体への広 告料等	3,734千円		
決算 (千円)	事業費計	53,560	34,460			主な 取組 内容 【R5】	・大会等主催者への助成金による誘致 ・東京ヤクルトスワローズ公式戦及び秋季 キャンプの開催 ・地元プロスポーツへの活動支援 ・台北市や各種団体と協定を基にしたス ポーツ交流		
	国費・県費	11,691	0						
	市債	0	0						
	その他	11,334	0						
	一般財源	30,535	34,460						
	(執行率)	63%	52%						
人役	正規職員	4.0	3.8	4.0		特記 事項	R5年度決算では、台湾とのスポーツ交流 に係る予算が不要となったため		
	その他	0.9	0.9	1.0					
	合計	4.9	4.7	5.0					

3.事業評価(検証・改善)【Check・Action】

種類	指標名		区分	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度 (最終目標年度)	目標の達成又は未達成要因の分析 (令和5年度)	
	目指す方向性	単位							
活動指標	スポーツ大会・合宿等開催助成金誘致件数		目標	40	40	40	40	R5.5にコロナが5類に移行し、申請件数が回復しつつあるが、コロナ過以前の水準に達していない。	
			実績	17	21				
	単年で増	件	達成率	43%	53%				
成果指標	プロスポーツの観客数		目標	155000	155000	155000		昨年比で実績は増加しており、更なる集客に向け、周知・啓発活動を実施する必要がある。	
			実績	108164	139415				
	単年で増	人	達成率	70%	90%				
事業評価	評価	一部の取組は期待した成果をあげられなかったが、全体としては概ね順調							
	理由	活動指標・成果指標ともに目標は未達成であるが、昨年比で実績は増加しており、行動制限の緩和、東京ヤクルトスワローズ公式戦が2日開催されることや愛媛FCJ2昇格等、今後も更なる増加が見込めるため。							
課題	スポーツ関係団体と連携し、スポーツに関する情報発信や、魅力的なイベントの実施等、再び市民にスポーツを身近に感じてもらうための取組みが必要である。					今後の方向性	現行のまま継続	左記の理由	市民や大会等主催者のニーズに合わせ、スポーツ活動の活性化に寄与する施策に取り組む。

令和6年度 松山市事務事業シート（令和5年度実績分）

部局等名	坂の上の雲まちづくり部	課等名	スポーティングシティ推進課	担当G	スポーツ振興	連絡先	948-6226	
部長等名	佐伯 文男	課等長名	丹生谷 泰生	リーダー	中田 さくら	担当	渡部 一樹	白石 杏樹

1.事業概要【Plan】

事業名	松山市文化・スポーツ振興財団事業振興補助金	事業性質	1-1:自治事務(実施規定なし)		事業区分	5:補助金・負担金	
44211							
基本目標	健全で豊かな心を育むまち【教育・文化】	各種計画該当	総合計画(実施計画)	総合計画(笑顔プログラム)	総合戦略	市長公約	
政策	松山市固有の文化芸術を守り育む						
施策	文化芸術の振興と活用		—	—	—	—	
主な取組	文化芸術活動の継承・推進及び支援	根拠法令	松山市補助金等交付規則、松山市文化芸術振興計画、松山市スポーツ推進計画				
取組みの柱	文化芸術に触れる機会の充実						
目的・背景	松山市施設管理公社と松山市生涯学習振興財団を統合し、文化及びスポーツ等の振興を目的とする松山市文化・スポーツ振興財団が平成22年に設立されたことを機に、松山市生涯学習振興財団に対する補助金を引き継いだ。松山市文化・スポーツ振興財団に対し、人件費・管理運営費を補助金として支出し、財団運営の安定を図り、本市の文化・スポーツの総合的な振興を図ることを目的としている。						
対象・内容	松山市文化・スポーツ振興財団に対し、人件費・管理運営費を補助金として支出し、財団運営の安定を図っている。						

2. 事業実施【Do】

2. 事業実施【Do】		会計	一般会計	款	教育費	項	社会教育費	目	社会教育総務費
事業費／財源		令和4年度	令和5年度	令和6年度		主な 経費 (千円) 【R5 決算】	松山市文化・スポーツ振 興財団への補助金		92,339
予算 (千円)	事業費計	96,879	103,643	103,897					
	国費・県費	1,088	0	0					
	市債	0	0	0					
	その他	0	0	0					
	一般財源	95,791	103,643	103,897					
決算 (千円)	事業費計	85,435	92,339			主な 取組 内容 【R5】	松山市文化・スポーツ振興財団に人件費・ 管理運営費を補助し、文化・スポーツ活動 の活性化を推進した。		
	国費・県費	870	31						
	市債	0	0						
	その他	0	0						
	一般財源	84,565	92,308						
	(執行率)	88%	89%						
人役	正規職員	0.2	0.2	0.2		特記 事項			
	その他	0.0	0.0	0.0					
	合計	0.2	0.2	0.2					

3.事業評価(検証・改善)【Check・Action】

種類	指標名		区分	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度 (最終目標年度)	目標の達成又は未達成要因の分析 (令和5年度)	
	目指す方向性	単位							
活動指標	実施事業数		目標	47	46	46	46	申請がなかったため、事業を中止した。	
			実績	41	45				
	現状維持	件	達成率	87%	98%				
			目標						
			実績						
			達成率						
事業評価	評価	一部の取組は期待した成果をあげられなかったが、全体としては概ね順調							
	理由	優秀選手の宿泊を伴う合宿・遠征等で申込のない事業はあったが、選手育成のために今後も事業を継続して行う必要がある。全体としては、コロナ前の水準に戻り、予定していた事業を概ね実施できたため。							
課題	各団体等への情報提供を行い、更なる申請件数の増加を図る取組が必要である。					今後の方向性	現行のまま継続	左記の理由	文化・スポーツを総合的に振興し、魅力あるまちづくりを推進するため。

令和6年度 松山市事務事業シート（令和5年度実績分）

部局等名	坂の上の雲まちづくり部	課等名	スポーティングシティ推進課	担当G	スポーツ振興	連絡先	948-6226		
部長等名	佐伯 文男	課等長名	丹生谷 泰生	リーダー	中田 さくら	担当	渡部 一樹	白石 杏樹	

1.事業概要【Plan】

事業名	文化スポーツ振興事業補助金	事業性質	1-1:自治事務(実施規定なし)		事業区分	5:補助金・負担金	
44211							
基本目標	健全で豊かな心を育むまち【教育・文化】	各種計画該当	総合計画(実施計画)	総合計画(笑顔プログラム)	総合戦略	市長公約	
政策	松山市固有の文化芸術を守り育む		—	—			
施策	文化芸術の振興と活用		—	—	—	—	
主な取組	文化芸術活動の継承・推進及び支援	根拠法令	松山市補助金等交付規則、松山市文化芸術振興計画、松山市スポーツ推進計画				
取組みの柱	文化芸術に触れる機会の充実						
目的・背景	松山市施設管理公社と松山市生涯学習振興財団を統合し、文化及びスポーツ等の振興を目的とする松山市文化・スポーツ振興財団が平成22年に設立されたことを機に、松山市生涯学習振興財団に対する補助金を引き継いだ。松山市文化・スポーツ振興財団が実施する文化・スポーツ振興事業に対して補助金を支出し、本市の文化・スポーツの総合的な振興を図ることを目的としている。						
対象・内容	松山市文化・スポーツ振興財団に対し、財団が実施する事業について補助金を支出し支援を行っている。						

2. 事業実施【Do】

2. 事業実施【Do】		会計	一般会計	款	教育費	項	社会教育費	目	社会教育総務費
事業費／財源		令和4年度	令和5年度	令和6年度		主な 経費 (千円) 【R5 決算】	松山市文化・スポーツ振 興財団への補助金	17,677	
予算 (千円)	事業費計	25,937	24,285	24,334					
	国費・県費	0	0	0					
	市債	0	0	0					
	その他	0	0	0					
	一般財源	25,937	24,285	24,334					
決算 (千円)	事業費計	15,447	17,677			主な 取組 内容 【R5】	キッズジョブまつやま、カルスポフェスタ、 トップアスリート招へい事業、スポーツ少年 団、各種目団体体育成事業等を実施し文化・ スポーツ活動の活性化を推進した。		
	国費・県費	0	0						
	市債	0	0						
	その他	0	0						
	一般財源	15,447	17,677						
	(執行率)	60%	73%						
人役	正規職員	0.3	0.3	0.3		特記 事項			
	その他	0.0	0.0	0.0					
	合計	0.3	0.3	0.3					

3.事業評価(検証・改善)【Check・Action】

種類	指標名		区分	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度 (最終目標年度)	目標の達成又は未達成要因の分析 (令和5年度)	
	目指す方向性	単位							
活動指標	補助事業数		目標	28	26	26	26	申請がなかったため、事業を中止した。	
			実績	27	24				
	現状維持	件	達成率	96%	92%				
成果指標	スポーツ審判員等の養成 人数		目標	1,250	1,250	1,250	1,250	養成講習会等への参加や資格取得申請件 数が少なかった。	
			実績	953	993				
	累計で増	人	達成率	76%	79%				
事業 評価	評価	一部の取組は期待した成果をあげられなかったが、全体としては概ね順調							
	理由	優秀選手の宿泊を伴う合宿・遠征等や資格取得件数の申請が目標を達成できていないが、徐々にコロナ前の水準に向け回復傾向にあるため。							
課題	各団体等への情報提供を行い、更なる申請件数の増加を図る取組が必要である。					今後の 方向性	現行のまま継続	左記の 理由	文化・スポーツを総合的に振興し、魅力あるまちづくりを推進するため。

令和6年度 松山市事務事業シート（令和5年度実績分）

部局等名	坂の上の雲まちづくり部	課等名	スポーティングシティ推進課	担当G	スポーツ振興担当	連絡先	948-6226	
部長等名	佐伯 文男	課等長名	丹生谷 泰生	リーダー	中田 さくら	担当	渡部 一樹	白石 杏樹

1.事業概要【Plan】

事業名	市民スポーツ活動活性化事業	事業性質	1-1:自治事務(実施規定なし)		事業区分	5:補助金・負担金	
42211		各種計画該当	総合計画(実施計画)	総合計画(笑顔プログラム)	総合戦略	市長公約	
基本目標			○	－	○	－	
政策							
施策		地域スポーツの活性化	根拠法令	松山市スポーツ推進計画			
主な取組	地域スポーツ活動の推進						
取組みの柱	市民スポーツ活動の活性化						
目的・背景	スポーツを通じ、市民の健康保持、健康増進及び公民館相互の親睦・交流を図るため、「松山市民体育祭実行委員会」を設立し、昭和55年から市民体育祭を運営している。また、広く市民の間にスポーツを普及し、スポーツ精神を高揚させることによって、市民の健康増進と体力の向上を図り、市民生活を明るく豊かにするため、「松山市長旗杯大会開催支援実行委員会」を設立し、平成25年度から市民のスポーツ振興を積極的に支援している。						
対象・内容	「松山市民体育祭実行委員会」に負担金を支出し、市民体育祭を開催する。 松山市長旗杯大会を開催している各種団体に対して、「松山市長旗杯大会開催支援実行委員会」が継続して大会が開催できるよう支援を行う。						

2. 事業実施【Do】

2. 事業実施【Do】		会計	一般会計	款	教育費	項	保健体育費	目	社会体育総務費
事業費／財源		令和4年度	令和5年度	令和6年度		主な 経費 (千円) 【R5 決算】	市民体育祭開催負担金	2,688	
予算 (千円)	事業費計	4,510	4,218	4,946			報償費(役員・審判謝礼、 トロフィー・景品)	416	
	国費・県費	0	0	0			会場使用料	178	
	市債	0	0	0					
	その他	0	0	0					
一般財源		4,510	4,218	4,946					
決算 (千円)	事業費計	1,081	3,442			主な 取組 内容 【R5】	松山市長旗杯大会へ開催支援を行った。また、公民館対抗スポーツ大会として、バレーボール大会、ソフトボール大会、ペタンク大会の3大会を開催した。		
	国費・県費	0	0						
	市債	0	0						
	その他	0	0						
	一般財源	1,081	3,442						
	(執行率)	24%	82%						
人役	正規職員	1.0	1.0	1.0		特記 事項	天候不良によりグラウンド・ゴルフ大会は中止となった。		
	その他	0.0	0.0	0.0					
	合計	1.0	1.0	1.0					

3.事業評価(検証・改善)【Check・Action】

種類	指標名		区分	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度 (最終目標年度)	目標の達成又は未達成要因の分析 (令和5年度)	
	目指す方向性	単位							
活動指標	市長旗杯スポーツ大会の開催数	目標	40	40	40	40	大会開催数は昨年度より増加しているものの、目標は達成できなかった。		
		実績	21	24					
	単年で増	件	達成率	53%	60%				
成果指標	公民館対抗スポーツ大会の参加者数	目標	2,600	2,600	2,600	2,600	公民館対抗スポーツ大会のうち、グラウンド・ゴルフ大会が天候不良により中止となったほか、地区体育祭の日程が市民体育祭と重複したため。		
		実績	920	1,380					
	現状維持	人	達成率	35%	53%				
事業評価	評価	一部の取組は期待した成果をあげられなかったが、全体としては概ね順調							
	理由	日程重複や一部大会の中止により活動指標・成果指標ともに目標は未達成であるが、徐々にではあるが、コロナ前の水準に向け回復傾向にあるため。							
課題	市長旗杯は、種目団体等への情報提供等を行い、大会数の増加を図る取組が必要である。 公民館対抗のスポーツ大会は、参加者数をコロナ前の水準に戻すための取組が必要である。					今後の方向性	現行のまま継続	左記の理由	各種の取り組みにより、市民のスポーツへの振興・普及が図られているため。

令和6年度 松山市事務事業シート（令和5年度実績分）

部局等名	坂の上の雲まちづくり部	課等名	スポーツingiシティ推進課	担当G	スポーツ振興担当	連絡先	948-6226		
部長等名	佐伯 文男	課等長名	丹生谷 泰生	リーダー	中田 さくら	担当	渡部 一樹	白石 杏樹	

1.事業概要【Plan】

事業名	社会体育振興事業		事業性質	1-1:自治事務(実施規定なし)		事業区分	5:補助金・負担金	
42211								
基本目標	健全で豊かな心を育むまち【教育・文化】		各種計画該当	総合計画(実施計画)	総合計画(笑顔プログラム)	総合戦略	市長公約	
政策	多彩な人材を育む							
施策	地域スポーツの活性化			○	○	○	○	
主な取組	地域スポーツ活動の推進		根拠法令	スポーツ基本法、松山市スポーツ推進計画				
取組みの柱	市民スポーツ活動の活性化							
目的・背景	【目的】スポーツの振興・普及を図るために各種大会に参加し、様々な支援を行い、スポーツでより多くの市民が笑顔になることを目的とする。 【背景】 ・より多くの笑顔が増えるよう、平成24年度より、スポーツで優秀な成績を収めた選手や指導者を対象に「まつやまスポーツ笑顔大賞」を創設。 ・平成17年に旧中島町との合併に伴い、旧中島町が開催していた「トライアスロン中島大会」の開催・運営を引き継いだことにより、大会運営に参画。 ・既存の大会としてあった「愛媛マラソン」を、平成22年の第48回大会から、市民マラソン大会として開催するにあたり、主催者として大会運営に参画。							
対象・内容	【対象】 広告料:社会人野球クラブチーム(松山フェニックス) 負担金交付先:愛媛マラソン実行委員会、トライアスロン中島大会実行委員会、松山市女子野球後援会 補助金交付先:全国大会に出場する小中学生 【事業内容】 ・市民が取り組む各種大会の名義後援等を行う。 ・スポーツ功労者に対して顕彰を行う。 ・女子野球後援会、愛媛マラソンやトライアスロン中島大会開催について負担金等の支援を行う。							

2. 事業実施【Do】

2. 事業実施【Do】		会計	一般会計	款	教育費	項	保健体育費	目	社会体育総務費
事業費／財源		令和4年度	令和5年度	令和6年度		主な経費 (千円) 【R5 決算】	愛媛マラソン開催負担金		10,000
予算 (千円)	事業費計	79,699	26,499	27,325			全国大会出場激励金		5,025
	国費・県費	0	0	0			トライアスロン中島大会 開催負担金		4,500
	市債	0	0	0					
	その他	0	3,500	1,900					
	一般財源	79,699	22,999	25,425					
決算 (千円)	事業費計	53,876	25,202			主な 取組 内容 【R5】	・市民が取り組む各種大会の後援等を行った。 ・スポーツ功労者に対して顕彰を行った。 ・大規模なスポーツ大会に対して必要経費 補助等を行った。		
	国費・県費	450	0						
	市債	0	0						
	その他	6,617	5,355						
	一般財源	46,809	19,847						
	(執行率)	68%	95%						
人役	正規職員	3.0	3.3	3.0		特記 事項			
	その他	1.9	1.8	1.0					
	合計	4.9	5.1	4.0					

3.事業評価(検証・改善)【Check・Action】

種類	指標名		区分	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度 (最終目標年度)	目標の達成又は未達成要因の分析 (令和5年度)	
	目指す方向性	単位							
成果指標	愛媛マラソン抽選 エントリー申込者数		目標	22,500	22,500	22,500	22,500	令和4年度からの引き続きの開催であったが、コロナ以前の水準までに回復しなかった。	
			実績	13,740	17,506				
	現状維持	人	達成率	61%	78%				
成果指標	トライアスロン中島大会 申込者数		目標	625	625	625	625	4年ぶりの開催となったが、長期間未実施であったことから、コロナ以前の水準までに回復しなかった。	
			実績	0	356				
	現状維持	人	達成率	0	57%				
事業評価	評価	一部の取組は期待した成果をあげられなかったが、全体としては概ね順調							
	理由	成果指標における目標は未達成ではあるが、コロナにより中止・延期していた多くの大会等を再開することができ、予定していた事業をすべて実施することができた。							
課題	新型コロナウイルス感染症の影響で、開催中止・延期となっていた各種大会の参加者を、コロナ以前の水準までに呼び戻すための取組が必要である。					今後の方向性	現行のまま継続	左記の理由	各種大会等の開催や支援を行うことにより、市民のスポーツへの振興・普及につながっているため。

令和6年度 松山市事務事業シート（令和5年度実績分）

部局等名	坂の上の雲まちづくり部	課等名	スポーツ・文化施設推進課	担当G	スポーツ・文化施設担当	連絡先	948-6597	
部長等名	佐伯 文男	課等長名	有光 一成	リーダー	白方 真一	担当	伊藤 慎弥	平岡 丈幹

1.事業概要【Plan】

事業名	総合コミュニティセンター管理運営事業		事業性質	1-1:自治事務(実施規定なし)		事業区分	3:指定管理	
42213			各種計画該当	総合計画(実施計画)	総合計画(笑顔プログラム)	総合戦略	市長公約	
基本目標	健全で豊かな心を育むまち【教育・文化】			○	－			
政策	多彩な人材を育む							
施策	地域スポーツの活性化							
主な取組	地域スポーツ活動の推進		根拠法令	松山市総合コミュニティセンター条例、松山市総合コミュニティセンター条例施行規則				
取組みの柱	快適なスポーツ施設の提供と活用							
目的・背景	松山市総合コミュニティセンターは市のスポーツ・レクリエーション・文化振興・生涯学習の活動中核拠点である。同センターの管理・運営を指定管理により行い、教育文化の振興や市民の健康増進、市民福祉の高揚に寄与する。							
対象・内容	令和元年度から令和6年3月31日までの5年間で、(公財)松山市文化・スポーツ振興財団が指定管理者として、管理・運営を行っている。							

2. 事業実施【Do】

2. 事業実施【Do】		会計	一般会計	款	総務費	項	総務管理費	目	総合コミュニティセンター費
事業費／財源		令和4年度	令和5年度	令和6年度		主な経費(千円)【R5決算】	委託料(指定管理料)		633,377
予算(千円)	事業費計	662,750	729,000	764,972			備品購入費(ロッカー)		1,155
	国費・県費	2,994	0	0			消耗品費(パイオクッション)		950
	市債	0	0	0					
	その他	164,100	162,600	206,335					
	一般財源	495,656	566,400	558,637					
決算(千円)	事業費計	604,156	644,417			主な取組内容【R5】	(公財)松山市文化・スポーツ振興財団へ指定管理者として管理・運営を委託		
	国費・県費	441	247						
	市債	0	0						
	その他	169,031	193,805						
	一般財源	434,684	450,365						
	(執行率)	91%	88%						
人役	正規職員	0.6	0.8	0.8		特記事項			
	その他	0.0	0.0	0.0					
	合計	0.6	0.8	0.8					

3.事業評価(検証・改善)【Check・Action】

種類	指標名		区分	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度 (最終目標年度)	目標の達成又は未達成要因の分析 (令和5年度)	
	目指す方向性	単位							
活動指標	開館日数		目標	318	320	323	323	目標通り開館日数を確保することができた。	
			実績	318	320				
	現状維持	日	達成率	100%	100%				
成果指標	使用料収入		目標	199,505	199,792	199,792	199,792	目標には到達しなかったが、前年度よりも増加した。	
			実績	163,760	186,537				
	現状維持	千円	達成率	82%	93%				
事業評価	評価	一部の取組は期待した成果をあげられなかったが、全体としては概ね順調							
	理由	目標を達成することができなかったものの、前年度よりも使用料収入は増加しており、新型コロナウイルスの影響により減少した利用に回復傾向が見られるため。							
課題	さらなる利用者数の回復のために、魅力ある施設運営に努める。					今後の方向性	一部見直し	左記の理由	魅力ある施設運営のために、実施事業等について適宜見直しを行う。

令和6年度 松山市事務事業シート（令和5年度実績分）

部局等名	坂の上の雲まちづくり部	課等名	スポーツ・文化施設推進課	担当G	スポーツ・文化施設担当	連絡先	948-6597	
部長等名	佐伯 文男	課等長名	有光 一成	リーダー	白方 真一	担当	伊藤 慎弥	平岡 丈幹

1.事業概要【Plan】

事業名	総合コミュニティセンター建物改修事業		事業性質	1-1:自治事務(実施規定なし)		事業区分	4:工事(工事に伴う設計委託含む)	
42213								
基本目標	健全で豊かな心を育むまち【教育・文化】		各種計画該当	総合計画(実施計画)	総合計画(笑顔プログラム)	総合戦略		市長公約
政策	多彩な人材を育む			—	—	—		—
施策	地域スポーツの活性化							
主な取組	地域スポーツ活動の推進		根拠法令	松山市総合コミュニティセンター条例、松山市総合コミュニティセンター条例施行規則、松山市スポーツ施設適正化計画				
取組みの柱	快適なスポーツ施設の提供と活用							
目的・背景	建設後約40年を迎え、老朽化が進んでいる施設を、適宜改修や更新により、市民が安全で安心して活用できる施設として維持・管理を行う。昭和59年11月に体育館・温水プール・駐車場が供用開始したのを皮切りに、昭和62年4月に全館オープンした。							
対象・内容	利用者が安心して施設を利用できるように、老朽化が進む施設の計画的な改修を行う。							

2. 事業実施【Do】

2. 事業実施【Do】		会計	一般会計	款	総務費	項	総務管理費	目	総合コミュニティセンター費
事業費／財源		令和4年度	令和5年度	令和6年度		主な経費 (千円) 【R5 決算】	総合コミュニティセンター 駐車場管制設備改修工 事		48,687
予算 (千円)	事業費計	99,292	137,968	457,064					
	国費・県費	0	0	0					
	市債	65,400	27,400	35,100					
	その他	0	0	364,133					
	一般財源	33,892	110,568	57,831					
決算 (千円)	事業費計	49,941	118,286			主な取組 内容 【R5】	駐車場管制設備改修工事を行った。		
	国費・県費	0	0						
	市債	21,700	9,800						
	その他	0	0						
	一般財源	28,241	108,486						
	(執行率)	50%	86%						
人役	正規職員	0.4	0.6	0.6		特記 事項			
	その他	0.0	0.2	0.2					
	合計	0.4	0.8	0.8					

3.事業評価(検証・改善)【Check・Action】

種類	指標名		区分	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度 (最終目標年度)	目標の達成又は未達成要因の分析 (令和5年度)	
	目指す方向性	単位							
活動指標	工事件数		目標	—	2	2	—	予定していた工事を実施することが出来た。	
			実績	—	2				
	現状維持	件	達成率	—	100%				
			目標						
			実績						
			達成率						
事業評価	評価	期待した成果をあげることができた。							
	理由	予定していた工事を実施することが出来たため。							
課題	施設の機能を維持するために、改修・修繕を行うとともに、安全で快適な施設を提供するために、計画的に取り組む。					今後の方向性	現行のまま継続	左記の理由	施設の適切な運営管理を行い、市民の円滑な利用に繋がっている。

令和6年度 松山市事務事業シート（令和5年度実績分）

部局等名	坂の上の雲まちづくり部	課等名	スポーティングシティ推進課	担当G	スポーツ・文化施設担当	連絡先	948-6598	
部長等名	佐伯 文男	課等長名	有光 一成	リーダー	白方 真一	担当	鈴木 紗知帆	都築 拓也

1.事業概要【Plan】

事業名	野外活動センター管理運営事業	事業性質	1-1:自治事務(実施規定なし)		事業区分	3:指定管理		
42213		各種計画該当	総合計画(実施計画)	総合計画(笑顔プログラム)	総合戦略	市長公約		
基本目標			○	－			－	－
政策								
施策								
主な取組	地域スポーツ活動の推進	根拠法令	松山市野外活動センター条例、松山市野外活動センター条例施行規則					
取組みの柱	快適なスポーツ施設の提供と活用							
目的・背景	野外活動及びスポーツ施設の拠点として、スポーツ・レクリエーションや豊かな自然に触れ合うことのできる場を提供し、市民の健康維持・増進に寄与するため、平成元年7月のキャンプゾーンの一部のオープンに皮切りに順次整備を進め、平成10年4月にレクリエーション施設として全面オープンした。レインボーハイランドとして親しまれ、管理運営を(公財)松山市文化・スポーツ振興財団が行っている。							
対象・内容	<対象> スクールゾーン、キャンプゾーン、アドベンチャーゾーンの3つのゾーンで構成されており、子どもから大人まで楽しめる野外活動センター施設となっている。 <事業内容> 令和元年度から5年間で、(公財)松山市文化・スポーツ振興財団が指定管理者として管理・運営を行っている。							

2. 事業実施【Do】

2. 事業実施【Do】		会計	一般会計	款	教育費	項	社会教育費	目	野外活動センター費
事業費／財源		令和4年度	令和5年度	令和6年度		主な経費(千円)【R5決算】	委託料(指定管理料)		187,893
予算(千円)	事業費計	265,135	303,224	259,149			野外活動センター管理棟外部改修その他工事		32,748
	国費・県費	0	0	0			野外活動センター管理棟空調更新ほか工事(前払金)		8,250
	市債	17,700	28,400	0					
	その他	27,959	27,359	27,239					
	一般財源	219,476	247,465	231,910					
決算(千円)	事業費計	234,224	249,120			主な取組内容【R5】	・指定管理者制度により管理運営を行った。 ・施設の改修工事を行った。		
	国費・県費	692	0						
	市債	13,900	26,700						
	その他	23,428	35,652						
	一般財源	196,204	186,768						
	(執行率)	88%	82%						
人役	正規職員	1.0	1.0	1.0		特記事項			
	その他	0.0	0.0	0.0					
	合計	1.0	1.0	1.0					

3.事業評価(検証・改善)【Check・Action】

種類	指標名		区分	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度 (最終目標年度)	目標の達成又は未達成要因の分析 (令和5年度)	
	目指す方向性	単位							
活動指標	営業日数		目標	321	320	321	321	概ね予定どおり営業することができた。	
			実績	323	323				
	現状維持	日	達成率	100.6%	100.9%				
成果指標	使用料収入		目標	35,080	37,000	37,000	37,000	コロナ禍前の利用状況までほぼ回復しているが、新型コロナウイルス感染症の影響が若干あったと思われる。	
			実績	22,724	34,772				
	単年で増	千円	達成率	64.8%	94.0%				
事業評価	評価	一部の取組は期待した成果をあげられなかったが、全体としては概ね順調							
	理由	使用料収入については、目標を達成することができなかったものの、前年度よりも増加しており、新型コロナウイルスの影響により減少した利用に回復傾向が見られるため。							
課題	利用者が安全な環境で安心して施設を利用できるよう、老朽化に伴う施設整備などを計画的に進めるほか、利用者数の回復のために魅力ある施設運営に努める必要がある。					今後の方向性	現行のまま継続	左記の理由	施設の適切な運営管理を行い、市民の円滑な利用に繋がっている。

令和6年度 松山市事務事業シート（令和5年度実績分）

部局等名	坂の上の雲まちづくり部	課等名	スポーツ・シティ推進課	担当G	スポーツ・文化施設担当	連絡先	948-6598	
部長等名	佐伯 文男	課等長名	有光 一成	リーダー	白方 真一	担当	内原 大智	鈴木 紗知帆

1.事業概要【Plan】

事業名	スポーツセンター管理事業	事業性質	1-1:自治事務(実施規定なし)		事業区分	3:指定管理	
42213		各種計画該当	総合計画(実施計画)	総合計画(笑顔プログラム)	総合戦略		市長公約
基本目標	多彩な人材を育む		○	—	—	—	
政策	地域スポーツの活性化		根拠法令	松山市体育施設条例、松山市体育施設条例施行規則			
施策	地域スポーツ活動の推進						
取組みの柱	快適なスポーツ施設の提供と活用						
目的・背景	松山市北部地域のスポーツ拠点として、市民にスポーツ活動・レクリエーション活動を行える場所を提供する。 平成17年1月に旧北条市との合併により、旧北条スポーツセンター及び北条体育館が松山市の管理施設となった。現在のスポーツセンターは、平成19年7月に球技場の供用開始を皮切りに順次供用し、平成23年4月には体育館を供用開始して第1期整備は完了した。次いで第2期整備として平成28年4月に野球場を供用開始した。						
対象・内容	<対象> 北条スポーツセンター及び北条体育館 <事業内容> 令和元年度から5年間で、(公財)松山市文化・スポーツ振興財団が指定管理者として管理・運営を行っている。						

2. 事業実施【Do】

2. 事業実施【Do】		会計	一般会計	款	教育費	項	保健体育費	目	体育施設費
事業費／財源		令和4年度	令和5年度	令和6年度		主な 経費 (千円) 【R5 決算】	委託料(指定管理料)		97,586
予算 (千円)	事業費計	150,458	109,045	161,865			芝刈り機1台		2,882
	国費・県費	0	0	0			高圧真空遮断器取替その他工事代金		774
	市債	0	0	41,400					
	その他	17,000	16,800	20,515					
	一般財源	133,458	92,245	99,950					
決算 (千円)	事業費計	142,337	102,143			主な 取組 内容 【R5】	・指定管理者制度により管理運営を行った。 ・施設の備品の買替を行った。		
	国費・県費	385	0						
	市債	0	0						
	その他	17,693	20,326						
	一般財源	124,259	81,817						
	(執行率)	95%	94%						
人役	正規職員	1.1	0.7	0.7		特記 事項			
	その他		0.1	0.1					
	合計	1.1	0.8	0.8					

3.事業評価(検証・改善)【Check・Action】

種類	指標名		区分	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度 (最終目標年度)	目標の達成又は未達成要因の分析 (令和5年度)	
	目指す方向性	単位							
活動指標	開館日数		目標	359	359	359	359	通常開館以外に臨時開館したため、目標より開館日数が多くなった。	
			実績	349	360				
	現状維持	日	達成率	97%	100%				
成果指標	使用料収入		目標	17,730	17,910	17,910	17,910	新型コロナウイルスの影響で減少していたが、利用が増加している。	
			実績	16,086	18,446				
	単年で増	千円	達成率	91%	103%				
事業評価	評価	期待した成果をあげることができた。							
	理由	新型コロナウイルスで減少していた利用が再開され、前年度から大きく利用が増加し、目標を達成した。							
課題	市民の多種多様なスポーツニーズに対応できるよう、適正な規模で必要な整備を進めていく必要がある。					今後の方向性	現行のまま継続	左記の理由	施設の適切な運営管理を行い、市民の円滑な利用に繋がっている。

令和6年度 松山市事務事業シート（令和5年度実績分）

部局等名	坂の上の雲まちづくり部	課等名	スポーツingiシティ推進課	担当G	スポーツ文化施設	連絡先	997-2211	
部長等名	佐伯 文男	課等長名	有光 一成	リーダー	白方 真一	担当	菊池 豪	新藤 成人

1.事業概要【Plan】

事業名	中島B＆G海洋センター事業	事業性質	1-1:自治事務(実施規定なし)		事業区分	1:直営	
42213		各種計画該当	総合計画(実施計画)	総合計画(笑顔プログラム)	総合戦略		市長公約
基本目標			－	－	－	－	
政策			多彩な人材を育む				
施策		地域スポーツの活性化					
主な取組	地域スポーツ活動の推進		根拠法令	松山市体育施設条例、松山市体育施設条例施行規則			
取組みの柱	快適なスポーツ施設の提供と活用						
目的・背景	【目的】中島B＆G海洋センターは、体育館(アリーナ・トレーニングルーム・ミーティングルーム)と、プールを保有するスポーツレクリエーションの総合施設であり、市民の健康増進に繋がる様々なイベントやスポーツ教室を年間通じて開設している。また、海洋スポーツ等を通じた青少年の健全育成を促進するため、海洋クラブ活動を年間20回程度実施している。さらに、夏季には、海に親しむ機会を作るため、海洋性レクリエーション指導員の派遣を行っている。 【背景】昭和59年開設(公益財団法人ブルーシー・アンド・グリーンランド財団により建設され、昭和62年に中島町に無償譲渡された。平成17年に松山市と合併したため、『松山市中島B＆G海洋センター』として運営中。						
対象・内容	【対象】体育施設内のアリーナ等の貸出や健康増進に繋がるイベント・教室は、主に中島に住む住民が対象である。海洋クラブは、中島島民も含む市内の約30名の小中学生が対象である。海洋性レクリエーションを中心とした体験イベントは主に市内の小中学校が主である。また、B＆G財団との連携による事業では、海洋クラブ等の市内の小中学生が対象。 【内容】体育施設は、体育館やプール、テニスコートなどの施設管理と貸出業務。海洋クラブや海洋性レクリエーションは、主にカヌーやヨットなどを指導。B＆G財団との連携事業は、企画及び運営。						

2. 事業実施【Do】

2. 事業実施【Do】		会計	一般会計	款	教育費	項	保健施設費	目	体育施設費
事業費／財源		令和4年度	令和5年度	令和6年度		主な 経費 (千円) 【R5 決算】	中島B＆G海洋センタープ ール上屋改修その他工事		26,975
予算 (千円)	事業費計	43,991	41,572	12,809			中島B＆G海洋センター 夜間管理業務委託料		2,257
	国費・県費	0	0	0			光熱水費		1,636
	市債	0	14,100	0					
	その他	13,060	15,060	260					
	一般財源	30,931	12,412	12,549					
決算 (千円)	事業費計	29,145	36,611			主な 取組 内容 【R5】	・体育施設の貸館業務（プールを含む） ・海洋性レクリエーション（カヌー等の体験イ ベント）の実施 ・スポーツ教室等の開催 ・海洋クラブやBG塾の実施		
	国費・県費	0	0						
	市債	0	11,700						
	その他	230	15,099						
	一般財源	28,915	9,812						
	（執行率）	66%	88%						
人役	正規職員	3.0	3.0	3.0		特記 事項			
	その他	0.0	0.0	0.0					
	合計	3.0	3.0	3.0					

3.事業評価(検証・改善)【Check・Action】

種類	指標名		区分	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度 (最終目標年度)	目標の達成又は未達成要因の分析 (令和5年度)	
	目指す方向性	単位							
成果指標	施設利用者人数		目標	7,000	7,500	8,000	8,500	新型コロナウイルスの5類移行により利用者が徐々に回復してきている。	
			実績	8,266	9,574				
	現状維持	人	達成率	118%	128%				
成果指標	海洋クラブ参加者数		目標	400	400	400	400	新型コロナウイルスの5類移行により利用者が徐々に回復してきている。	
			実績	317	338				
	現状維持	人	達成率	79%	85%				
事業評価	評価	一部の取組は期待した成果をあげられなかったが、全体としては概ね順調							
	理由	新型コロナウイルスの影響により満足する数値ではなかったものの徐々に回復しているため							
課題	主に施設利用者が島民であるため、人口減少や高齢化による利用者の確保が年々困難となっている					今後の方向性	現行のまま継続	左記の理由	適切な施設の運営管理を行い、市民の円滑な利用に繋がっている。

令和6年度 松山市事務事業シート（令和5年度実績分）

部局等名	坂の上の雲まちづくり部	課等名	スポーツ・文化施設推進課	担当G	スポーツ・文化施設担当	連絡先	948-6597	
部長等名	佐伯 文男	課等長名	有光 一成	リーダー	白方 真一	担当	平岡 丈幹	内原 大智

1.事業概要【Plan】

事業名	体育施設管理運営事業	事業性質	1-1:自治事務(実施規定なし)		事業区分	3:指定管理	
42213		各種計画該当	総合計画(実施計画)	総合計画(笑顔プログラム)	総合戦略	市長公約	
基本目標			健全で豊かな心を育むまち【教育・文化】	○	—	—	—
政策			多彩な人材を育む				
施策		地域スポーツの活性化					
主な取組	地域スポーツ活動の推進	根拠法令	松山市体育施設条例、松山市体育施設条例施行規則				
取組みの柱	快適なスポーツ施設の提供と活用						
目的・背景	〈目的〉 体育施設を円滑に管理し、充実したスポーツ施設を市民に提供する。 〈背景〉 用者が目的に応じ安心して気軽にスポーツを楽しむほか、市民のレクリエーション活動や憩いの場として活用するために順次開設し、維持管理を行っている。						
対象・内容	・別府市民運動広場、拓川市民運動広場、空港東第四公園テニスコート、湯月公園テニスコート、重信川ソフトボール広場：令和元年度から5年間の予定で、奥アンツーカ株式会社が指定管理者として管理・運営を行っている。 ・河野別府公園体育施設(市民グラウンド、サブグラウンド、テニスコート)：ふるさと北条ファンづくり応援団へ委託 ・北条公園(北橋運動広場)：令和4年度から令和8年度の5年間の予定で、ふるさと北条ファンづくり応援団が指定管理者として管理・運営を行っている。						

2. 事業実施【Do】

2. 事業実施【Do】		会計	一般会計	款	総務費	項	総務管理費	目	文化振興費
事業費／財源		令和4年度	令和5年度	令和6年度			主な 経費 (千円) 【R5 決算】	委託料(指定管理料)	37,554
予算 (千円)	事業費計	41,092	42,163	45,852				工事請負費	746
	国費・県費	0	0	0					
	市債	0	0	0					
	その他	16,863	16,200	16,589					
	一般財源	24,229	25,963	29,263			光熱水費	166	
決算 (千円)	事業費計	40,476	39,924				主な 取組 内容 【R5】	別府第一市民運動広場等について奥アンツーカ株式会社、河野別府グラウンド等についてふるさと北条ファンづくり応援団を指定管理者として管理・運営を委託	
	国費・県費	0	0						
	市債	0	0						
	その他	16,622	15,139						
	一般財源	23,854	24,785						
	(執行率)	99%	95%						
人役	正規職員	0.9	0.9	0.9			特記 事項		
	その他	0.2	0.2	0.2					
	合計	1.1	1.1	1.1					

3.事業評価(検証・改善)【Check・Action】

種類	指標名		区分	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度 (最終目標年度)	目標の達成又は未達成要因の分析 (令和5年度)	
	目指す方向性	単位							
活動指標	営業日数		目標	359	359	359	359	予定どおり開館することができ、良好であった。	
			実績	359	359				
	単年で増	日	達成率	100%	100%				
成果指標	使用料収入		目標	16,580	16,802	16,802	－	想定よりも利用者が少なかったため、目標を達成することができなかった。	
			実績	15,836	14,724				
	現状維持	千円	達成率	96%	88%				
事業評価	評価	一部の取組は期待した成果をあげられたが、全体としては概ね低調							
	理由	体育施設の管理は適切に実施できたものの、使用料収入は想定よりも利用者が少なく目標を達成することができなかったため。							
課題	地域スポーツ活動の場として活用されているので、今後も安心して利用できる施設管理に努める必要がある。					今後の方向性	現行のまま継続	左記の理由	施設の適切な運営管理を行い、市民の円滑な利用につながっている。

令和6年度 松山市事務事業シート（令和5年度実績分）

部局等名	坂の上の雲まちづくり部	課等名	スポーツ・文化施設推進課	担当G	スポーツ・文化施設担当	連絡先	948-6597	
部長等名	佐伯 文男	課等長名	有光 一成	リーダー	白方 真一	担当	都築 拓也	内原 大智

1.事業概要【Plan】

事業名	中央公園管理運営事業	事業性質	1-1:自治事務(実施規定なし)		事業区分	3:指定管理	
42213							
基本目標	健全で豊かな心を育むまち【教育・文化】	各種計画該当	総合計画(実施計画)	総合計画(笑顔プログラム)	総合戦略	市長公約	
政策	多彩な人材を育む						
施策	地域スポーツの活性化		○	－	－	－	
主な取組	地域スポーツ活動の推進	根拠法令	松山中央公園体育施設条例、松山中央公園体育施設施行規則				
取組みの柱	快適なスポーツ施設の提供と活用						
目的・背景	スポーツ施設の拠点、スポーツ公園として、スポーツ・レクリエーションの場を提供して、市民の健康維持、増進に寄与する。指定管理者制度の導入に伴い、平成18年から指定管理を導入した。						
対象・内容	令和元年度から5年間、指定管理者として松山中央公園の管理・運営を行うため、(公財)松山市文化・スポーツ振興財団に指定管理料を支出している。						

2. 事業実施【Do】

2. 事業実施【Do】		会計	一般会計	款	教育費	項	保健体育費	目	中央公園管理費
事業費／財源		令和4年度	令和5年度	令和6年度		主な 経費 (千円) 【R5 決算】	委託料(指定管理料)		641,453
予算 (千円)	事業費計	676,810	766,999	842,165			移動型フルカラーLED表示盤等機器 1式	29,480	
	国費・県費	0	0	0			松山中央公園坊っちゃんスタジアム第1電気室空調機更新工事	6,594	
	市債	0	0	0					
	その他	136,660	135,760	200,529					
	一般財源	540,150	631,239	641,636					
決算 (千円)	事業費計	642,584	704,894			主な 取組 内容 【R5】	・(公財)松山市文化・スポーツ振興財団へ 指定管理者として管理・運営を委託		
	国費・県費	2,293	808						
	市債	0	0						
	その他	142,383	161,245						
	一般財源	497,908	542,841						
	(執行率)	95%	92%						
人役	正規職員	0.6	0.6	0.6		特記 事項			
	その他								
	合計	0.6	0.6	0.6					

3.事業評価(検証・改善)【Check・Action】

種類	指標名		区分	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度 (最終目標年度)	目標の達成又は未達成要因の分析 (令和5年度)	
	目指す方向性	単位							
活動指標	開館日数		目標	320	322	322	322	おおむね目標通り開館日数を確保することができた。	
			実績	320	318				
	現状維持	日	達成率	100%	99%				
成果指標	使用料収入		目標	131,400	133,400	133400	133400	新型コロナウイルスの影響で落ち込んでいた利用が回復してきたため。	
			実績	134,830	155,941				
	単年で増	千円	達成率	103%	117%				
事業評価	評価	期待した成果をあげることができた。							
	理由	新型コロナウイルス感染症の対策が緩和されたことや、プロ野球公式戦開催などの効果で、昨年度から使用料収入が増加した。							
課題	感染症対策が緩和され、利用が回復しており、継続して適切に施設を維持管理する必要がある。					今後の方向性	現行のまま継続	左記の理由	施設の適切な運営管理を行い、市民の円滑な利用に繋がっている。

令和6年度 松山市事務事業シート（令和5年度実績分）

部局等名	坂の上の雲まちづくり部	課等名	スポーツ・文化施設推進課	担当G	スポーツ・文化施設担当	連絡先	948-6597	
部長等名	佐伯 文男	課等長名	有光 一成	リーダー	白方 真一	担当	都築 拓也	内原 大智

1.事業概要【Plan】

事業名	野球歴史資料館維持管理事業	事業性質	1-1:自治事務(実施規定なし)		事業区分	2:委託	
42213		各種計画該当	総合計画(実施計画)	総合計画(笑顔プログラム)	総合戦略		市長公約
基本目標	健全で豊かな心を育むまち【教育・文化】		—	—	—	—	
政策	多彩な人材を育む						
施策	地域スポーツの活性化	根拠法令					
主な取組	地域スポーツ活動の推進						
取組みの柱	快適なスポーツ施設の提供と活用						
目的・背景	坊っちゃんスタジアムの施設内に、正岡子規が伝えたと言われる野球の歴史資料館を開館しており、アマチュア野球を中心に貴重な資料等の展示を行っている。野球歴史資料館維持管理事業は、市民はもとより、松山を訪れる野球ファンに来館していただき、愛媛の野球史に興味をもっていただけるよう、展示物を整備することを目的とする。平成14年のオールスターを契機に、愛媛の野球に関して顕彰を行い、後世に引き継いでいきたいという機運が高まったことが背景にある。						
対象・内容	松山市文化・スポーツ振興財団に野球歴史資料館の維持管理を委託するため、委託料を支出している。						

2. 事業実施【Do】

2. 事業実施【Do】		会計	一般会計	款	教育費	項	保健体育費	目	中央公園管理費
事業費／財源		令和4年度	令和5年度	令和6年度		主な 経費 (千円) 【R5 決算】	委託料(野球歴史資料館維持 管理運営業務委託)		6,859
予算 (千円)	事業費計	7,267	6,859	0					
	国費・県費	0	0	0					
	市債	0	0	0					
	その他	100	100	0					
	一般財源	7,167	6,759	0					
決算 (千円)	事業費計	6,552	5,481			主な 取組 内容 【R5】	・松山市文化スポーツ振興財団へ野球歴史 資料館の維持管理を委託		
	国費・県費	0	0						
	市債	0	0						
	その他	89	108						
	一般財源	6,463	5,373						
	(執行率)	90%	80%						
人役	正規職員	0.1	0.1	0.0		特記 事項			
	その他	0.0	0.0	0.0					
	合計	0.1	0.1	0.0					

3.事業評価(検証・改善)【Check・Action】

種類	指標名		区分	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度 (最終目標年度)	目標の達成又は未達成要因の分析 (令和5年度)	
	目指す方向性	単位							
活動指標	開館日数		目標	153	170	—	—	予定通り開館することができた。	
			実績	153	196				
	現状維持	日	達成率	100%	115.3%				
成果指標	入館者数		目標	—	12,000	—	—	坊っちゃんスタジアムでの試合等の開催状況に影響を受けた可能性がある。	
			実績	10,802	9,236				
	単年で増	人	達成率	—	77.0%				
事業評価	評価	その他							
	理由	予定通り施設を開館し、運営する事ができた。							
課題	コロナにより減少した入館者数を回復させる。					今後の方向性	一部見直し	左記の理由	R6年度から中央公園管理運営事業に統合

令和6年度 松山市事務事業シート（令和5年度実績分）

部局等名	坂の上の雲まちづくり部	課等名	スポーツ・文化施設推進課	担当G	スポーツ・文化施設担当	連絡先	948-6597	
部長等名	佐伯 文男	課等長名	有光 一成	リーダー	白方 真一	担当	都築 拓也	内原 大智

1.事業概要【Plan】

事業名	中央公園改修整備事業	事業性質	1-1:自治事務(実施規定なし)		事業区分	4:工事(工事に伴う設計委託含む)	
42213							
基本目標	健全で豊かな心を育むまち【教育・文化】	各種計画該当	総合計画(実施計画)	総合計画(笑顔プログラム)	総合戦略	市長公約	
政策	多彩な人材を育む		○	－			
施策	地域スポーツの活性化						
主な取組	地域スポーツ活動の推進	根拠法令	松山中央公園体育施設条例、松山中央公園体育施設施行規則、松山市スポーツ施設適正化計画				
取組みの柱	快適なスポーツ施設の提供と活用						
目的・背景	多くの市民等にスポーツ・レクリエーションの場を提供している中央公園体育施設の、安全で快適な施設提供を目的とする。各施設とも経年劣化による摩耗・劣化が見受けられ、体育施設等の機能を維持するために、改修・修繕を行う。						
対象・内容	松山中央公園各施設の状況を確認しながら、随時改修工事を行っている。						

2. 事業実施【Do】

2. 事業実施【Do】		会計	一般会計	款	教育費	項	保健体育費	目	中央公園管理費
事業費／財源		令和4年度	令和5年度	令和6年度		主な 経費 (千円) 【R5 決算】	坊っちゃんスタジアム外 周デッキ改修工事		69,300
予算 (千円)	事業費計	37,557	269,291	672,391			坊っちゃんスタジアム観 客席防水改修工事		79,058
	国費・県費	0	0	83,000			坊っちゃんスタジアム屋内練 習場照明LED化工事		12,838
	市債	12,700	229,400	479,200					
	その他	0	0	0					
	一般財源	24,857	39,891	110,191					
決算 (千円)	事業費計	22,150	94,238			主な 取組 内容 【R5】	坊っちゃんスタジアム外周デッキ改修工事 を行った。		
	国費・県費	0	0						
	市債	3,300	73,500						
	その他	0	0						
	一般財源	18,850	20,738						
	(執行率)	59%	35%						
人役	正規職員	0.3	0.7	0.7		特記 事項			
	その他	0.0	0.0	0.0					
	合計	0.3	0.7	0.7					

3.事業評価(検証・改善)【Check・Action】

種類	指標名		区分	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標の達成又は未達成要因の分析 (令和5年度)	
	目指す方向性	単位							
活動指標	工事件数		目標	—	2	5	—	予定していた工事を実施することが出来た。	
			実績	—	3				
	現状維持	件	達成率	—	150%				
成果指標			目標						
			実績						
			達成率						
事業評価	評価	期待した成果をあげることができた。							
	理由	予定していた工事を実施することが出来たため。							
課題	大規模な改修工事について、利用者に影響が出ない時期等を見据えて取り組む必要がある。					今後の方向性	現行のまま継続	左記の理由	各施設の機能を維持するために、計画的な改修が必要である。

令和6年度 松山市事務事業シート（令和5年度実績分）

部局等名	坂の上の雲まちづくり部	課等名	スポーツ・文化施設推進課	担当G	スポーツ・文化施設担当	連絡先	948-6598	
部長等名	佐伯 文男	課等長名	有光 一成	リーダー	白方 真一	担当	鈴木 紗知帆	都築 拓也

1.事業概要【Plan】

事業名	野外活動センター施設災害復旧事業	事業性質	2:その他		事業区分	4:工事(工事に伴う設計委託含む)	
42213							
基本目標	健全で豊かな心を育むまち【教育・文化】	各種計画該当	総合計画(実施計画)	総合計画(笑顔プログラム)	総合戦略	市長公約	
政策	多彩な人材を育む		—	—			
施策	地域スポーツの活性化		—	—			
主な取組	地域スポーツ活動の推進	根拠法令	松山市野外活動センター条例、松山市野外活動センター条例施行規則				
取組みの柱	快適なスポーツ施設の提供と活用						
目的・背景	令和5年6月30日からの大雨により、野外活動センター内で大規模崩落等が発生したため、利用者が安心して施設を利用できるよう復旧工事を行う。						
対象・内容	大雨で被害を受けた野外活動センターレストハウス東側法面等について、復旧工事を行う。						

2. 事業実施【Do】

2. 事業実施【Do】		会計	一般会計	款	災害復旧費	項	教育施設災害復旧費	目	野外活動センター施設災害復旧費
事業費／財源		令和4年度	令和5年度	令和6年度		主な経費(千円) 【R5決算】	松山市野外活動センター災害復旧工事(前払金)		8,750
予算(千円)	事業費計	0	26,205	15,114			松山市野外活動センターバ「イニア」場進入路復旧工事		792
	国費・県費		0	0					
	市債		26,200	15,100					
	その他		0	0					
	一般財源		5	14		松山市野外活動センター沈砂池復旧工事		573	
決算(千円)	事業費計	0	11,091			主な取組内容【R5】	・野外活動センターレストハウス東側法面崩壊に伴う復旧計画検討業務を有限会社中央エンジニアリングへ委託 ・野外活動センター災害復旧工事を実施		
	国費・県費		0						
	市債		11,000						
	その他		0						
	一般財源		91						
	(執行率)	0%	42%						
人役	正規職員		0.4	0.4		特記事項	工期延長となったことから、令和6年度に繰越を行ったため。		
	その他		0.0	0.0					
	合計	0.0	0.4	0.4					

3.事業評価(検証・改善)【Check・Action】

種類	指標名		区分	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和6年度 (最終目標年度)	目標の達成又は未達成要因の分析 (令和5年度)	
	目指す方向性	単位							
活動指標	工事件数		目標	—	3	1	1	一部工事が工期延長となり令和6年度に繰越となったが、災害復旧に向けて工事を実施することができた。	
			実績	—	3				
	現状維持	件	達成率	—	100%				
			目標						
			実績						
			達成率						
事業評価	評価	その他							
	理由	一部工事が工期延長となり令和6年度に繰越となったが、利用者が安心して施設を利用できるよう復旧工事を着実に進めることができた。							
課題	繰越となった工事について、利用者が安心して施設を利用できるよう、復旧工事を完了させる。					今後の方向性	現行のまま継続	左記の理由	令和6年度に計画的に復旧工事を進め完了させるため。

令和6年度 松山市事務事業シート（令和5年度実績分）

部局等名	坂の上の雲まちづくり部	課等名	スポーツイングシティ推進課	担当G	スポーツ振興担当	連絡先	948-6226	
部長等名	佐伯 文男	課等長名	丹生谷 泰生	リーダー	中田 さくら	担当	渡部 一樹	白石 杏樹

1.事業概要【Plan】

事業名	スポーツ推進委員協議会運営事業	事業性質	1-1:自治事務(実施規定なし)		事業区分	5:補助金・負担金	
42221							
基本目標	健全で豊かな心を育むまち【教育・文化】	各種計画該当	総合計画(実施計画)	総合計画(笑顔プログラム)	総合戦略	市長公約	
政策	多彩な人材を育む		—	—			
施策	地域スポーツの活性化		—	—			
主な取組	指導・支援体制の充実	根拠法令	スポーツ基本法、松山市スポーツ推進計画				
取組みの柱	指導者の育成・強化とボランティアの活動支援						
目的・背景	スポーツ基本法に基づきスポーツ推進委員を委嘱し、市民体育祭や各種スポーツ大会の運営や、地域住民に対し、スポーツに関する指導・助言を行うことで、地域のスポーツ振興に努める。						
対象・内容	各地区の公民館長から推薦された方(140名)を、スポーツ推進委員として本市が委嘱している。その活動経費として、松山市スポーツ推進委員協議会に負担金を支出している。協議会では、各種市民スポーツ大会を運営するほかニュースポーツやグラウンド・ゴルフ、ペタンク等の研修会を実施している。						

2. 事業実施【Do】

2. 事業実施【Do】		会計	一般会計	款	教育費	項	保健体育費	目	社会体育総務費
事業費／財源		令和4年度	令和5年度	令和6年度		主な経費 (千円) 【R5 決算】	委員報酬		5,451
予算 (千円)	事業費計	6,806	6,842	6,993			協議会運営負担金		826
	国費・県費	10	10	10			表彰に係る報償費		58
	市債	0	0	0					
	その他	0	0	0					
	一般財源	6,796	6,832	6,983					
決算 (千円)	事業費計	6,233	6,519			主な取組 内容 【R5】	各公民館長からの推薦により、引き続き各地区にスポーツ推進委員を配置し、スポーツの指導、助言等を行った。		
	国費・県費	11	11						
	市債	0	0						
	その他	0	0						
	一般財源	6,222	6,508						
	(執行率)	92%	95%						
人役	正規職員	0.9	0.9	0.9		特記 事項			
	その他	0.1	0.1	0.1					
	合計	1.0	1.0	1.0					

3.事業評価(検証・改善)【Check・Action】

種類	指標名		区分	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度 (最終目標年度)	目標の達成又は未達成要因の分析 (令和5年度)	
	目指す方向性	単位							
活動指標	スポーツ推進委員協議会が 参与するスポーツ大会等の 数		目標	15	15	15	15	天候不良により中止となったため。	
			実績	12	14				
	現状維持	件	達成率	80%	93%				
			目標						
			実績						
			達成率						
事業評価	評価	一部の取組は期待した成果をあげられなかったが、全体としては概ね順調							
	理由	一部大会の中止により目標は未達成であるが、予定していた大会を概ね実施できたため。							
課題	スポーツ推進委員が、地域で活発な活動を行えるよう、協議会の運営を円滑に行っていく必要がある。					今後の方向性	現行のまま継続	左記の理由	市民のスポーツに関する意識の高揚や健康増進につながるため。

令和6年度 松山市事務事業シート（令和5年度実績分）

部局等名	坂の上の雲まちづくり部	課等名	スポーツ・文化施設推進課	担当G	スポーツ・文化施設担当	連絡先	948-6597		
部長等名	佐伯 文男	課等長名	有光 一成	リーダー	白方 真一	担当	平岡 丈幹	林 賢司	

1.事業概要【Plan】

事業名	ふるさと館管理運営事業	事業性質	1-1:自治事務(実施規定なし)		事業区分	3:指定管理	
44212							
基本目標	健全で豊かな心を育むまち【教育・文化】	各種計画該当	総合計画(実施計画)	総合計画(笑顔プログラム)	総合戦略	市長公約	
政策	松山市固有の文化芸術を守り育む						
施策	文化芸術の振興と活用		—	—	—	—	
主な取組	文化芸術活動の継承・推進及び支援	根拠法令	松山市北条ふるさと館条例、松山市北条ふるさと館条例施行規則、松山市文化芸術振興計画				
取組みの柱	文化芸術活動の環境整備						
目的・背景	北条ふるさと館は、歴史民俗資料・美術品の展示、歴史文化等各種講座を実施して、市民文化の振興を図ることを目的とした施設である。施設の管理運営は、民間の能力を活用しつつ住民サービスの向上と経費の節減を図ることを目的とした指定管理者制度により行う。						
対象・内容	北条ふるさと館は、令和4年度から令和8年度の5年間の予定で、ふるさと北条ファンづくり応援団が指定管理者として管理・運営を行っている。指定管理者による美術展示室や歴史民俗資料展示室での展示、講演会・研修会等が開催できる会議室等の提供及び市民の作品発表の場としての展示室等の貸出をはじめ、歴史文化等が学習できる講座を行っている。また、建築物等施設や機材設備対象・事業内容の耐用年数により予測される不具合に対し、計画的に改修を行う「予防保全」と、予期せぬ故障が起こった場合改修等を行う「事後保全」により施設の維持を行っている。						

2. 事業実施【Do】

2. 事業実施【Do】		会計	一般会計	款	総務費	項	総務管理費	目	文化振興費
事業費／財源		令和4年度	令和5年度	令和6年度		主な 経費 (千円) 【R5 決算】	委託料(指定管理料)		36,356
予算 (千円)	事業費計	44,763	41,019	105,909					
	国費・県費	5,564	0	0					
	市債	0	0	61,100					
	その他	2,005	2,005	2,670					
	一般財源	37,194	39,014	42,139					
決算 (千円)	事業費計	38,088	37,899			主な 取組 内容 【R5】	・指定管理者による施設の維持管理費、各種歴史文化等講座や自主事業の実施。 ・突発的な不具合に対応するための修繕工事の実施。		
	国費・県費	0	0						
	市債	0	0						
	その他	2,195	3,425						
	一般財源	35,893	34,474						
	(執行率)	85%	92%						
人役	正規職員	0.3	0.3	0.3		特記 事項			
	その他	0.0	0.0	0.0					
	合計	0.3	0.3	0.3					

3.事業評価(検証・改善)【Check・Action】

種類	指標名		区分	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度 (最終目標年度)	目標の達成又は未達成要因の分析 (令和5年度)	
	目指す方向性	単位							
活動指標	営業日数		目標	300	303	305	305	予定どおり開館することができた。	
			実績	300	303				
	単年で増	日	達成率	100%	100%				
成果指標	北条ふるさと館年間使用料収入		目標	1,895	1,940	1,980		利用者数増加に伴い使用料も増加し、目標を達成することができた。	
			実績	2,400	2891				
	単年で増	千円	達成率	127%	149%				
事業評価	評価	期待した成果をあげることができた。							
	理由	利用者数がコロナ以前の水準に戻りつつあり、令和5年度は前年度比で使用料収入が増加した。							
課題	利用者数・使用料収入ともにコロナ以前の水準に戻りつつあり、引き続き利用者増加に努める必要がある。					今後の方向性	現行のまま継続	左記の理由	施設の適切な運営管理を行うことで、市民の円滑な利用につながっているため。

令和6年度 松山市事務事業シート（令和5年度実績分）

部局等名	坂の上の雲まちづくり部	課等名	スポーツ・文化施設推進課	担当G	スポーツ・文化施設担当	連絡先	948-6598	
部長等名	佐伯 文男	課等長名	有光 一成	リーダー	白方 真一	担当	林 賢司	伊藤 慎弥

1.事業概要【Plan】

事業名	市民会館管理運営事業	事業性質	1-1:自治事務(実施規定なし)		事業区分	3:指定管理	
44212							
基本目標	健全で豊かな心を育むまち【教育・文化】	各種計画該当	総合計画(実施計画)	総合計画(笑顔プログラム)	総合戦略	市長公約	
政策	松山市固有の文化芸術を守り育む		○	－			
施策	文化芸術の振興と活用						
主な取組	文化芸術活動の継承・推進及び支援	根拠法令	松山市民会館条例、松山市民会館条例施行規則、松山市北条市民会館条例、松山市北条市民会館条例施行規則				
取組みの柱	文化芸術活動の環境整備						
目的・背景	松山及び北条市民会館は、本市の文化拠点であることから、適正な管理運営により、市民が文化芸術を鑑賞する場、練習・発表する場を提供することを目的とする。 また、松山市民会館は、民間の能力を活用しつつ、住民サービスの向上を図るとともに、経費の節減を図ることを目的とした指定管理者制度により、施設の管理運営を行う。						
対象・内容	・松山市民会館については、平成18年度から指定管理者制度を導入しており、第4期指定管理期間(平成31年度～令和5年度)は、公益財団法人松山市文化・スポーツ振興財団が指定管理者として施設の管理運営を行っている。 ・北条市民会館については、受付等は北条支所が、その他の光熱水費、燃料費、音響照明等管理運営については、スポーツ・文化施設推進課が担当し管理運営を行っている。						

2. 事業実施【Do】

2. 事業実施【Do】		会計	一般会計	款	総務費	項	総務管理費	目	文化振興費
事業費／財源		令和4年度	令和5年度	令和6年度		主な 経費 (千円) 【R5 決算】	委託料(指定管理料)		194,985
予算 (千円)	事業費計	215,719	232,870	240,754			委託料(北条市民会館空調設備保守点検)	1,100	
	国費・県費	5,564	0	0					
	市債	0	0	0					
	その他	56,452	56,452	96,543					
	一般財源	153,703	176,418	144,211					
決算 (千円)	事業費計	191,330	208,534			主な 取組 内容 【R5】	・松山市民会館は、指定管理者制度により管理運営を行った。 ・北条市民会館は、北条支所が窓口業務を、文化・ことば課がその他の管理運営を行った。		
	国費・県費	4,210	3,463						
	市債	0	0						
	その他	81,475	87,907						
	一般財源	105,645	117,164						
	(執行率)	89%	90%						
人役	正規職員	0.4	0.9	0.9		特記 事項			
	その他	0.0	0.9	0.9					
	合計	0.4	1.8	1.8					

3.事業評価(検証・改善)【Check・Action】

種類	指標名		区分	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度 (最終目標年度)	目標の達成又は未達成要因の分析 (令和5年度)	
	目指す方向性	単位							
活動指標	開館日数		目標	310	309	309	310	通常開館以外に臨時開館したため、目標よりも開館日数が多くなった。	
			実績	310	320				
	単年で増	日	達成率	100.0%	98.4%				
成果指標	松山市民会館年間使用料収入		目標	94,375	95,125	95,125	95,125	コロナ禍前の利用状況までほぼ回復しているが、新型コロナウイルス感染症の影響が若干あったと思われる。	
			実績	77,102	84,835				
	単年で増	千円	達成率	81.7%	89.2%				
事業評価	評価	一部の取組は期待した成果をあげられなかったが、全体としては概ね順調							
	理由	松山市民会館の利用者数や使用料収入について、コロナ禍前の状況にほぼ回復していて、令和5年度は前年度比で利用者数や使用料収入が増加した。							
課題	コロナ禍前の利用者数や使用料収入まで、ほぼ回復しているが、引き続き新規利用者の確保など利用者の増加に努める必要がある。					今後の方向性	現行のまま継続	左記の理由	施設の適切な運営管理を行い、市民の円滑な利用に繋がっている。

令和6年度 松山市事務事業シート（令和5年度実績分）

部局等名	坂の上の雲まちづくり部	課等名	スポーツ・文化施設推進課	担当G	スポーツ・文化施設担当	連絡先	948-6956	
部長等名	佐伯 文男	課等長名	有光 一成	リーダー	白方 真一	担当	林 賢司	伊藤 慎弥

1.事業概要【Plan】

事業名	市民会館改修事業	事業性質	1-1:自治事務(実施規定なし)		事業区分	4:工事(工事に伴う設計委託含む)	
44212							
基本目標	健全で豊かな心を育むまち【教育・文化】	各種計画該当	総合計画(実施計画)	総合計画(笑顔プログラム)	総合戦略	市長公約	
政策	松山市固有の文化芸術を守り育む		—	—			
施策	文化芸術の振興と活用		—	—			
主な取組	文化芸術活動の継承・推進及び支援	根拠法令	松山市民会館条例、松山市民会館条例施行規則、松山市北条市民会館条例、松山市北条市民会館条例施行規則				
取組みの柱	文化芸術活動の環境整備						
目的・背景	文化活動の拠点として、松山市民会館は、昭和40年に供用開始。北条市民会館は、昭和55年に供用開始。						
対象・内容	・松山市民会館及び北条市民会館の建物や設備の耐用年数や兆候などあらかじめ予測される不具合に対し、計画的に改修を行う「予防保全」と、突発の故障・不具合について改修を行う「事後保全」により、施設の維持保全を行っている。						

2. 事業実施【Do】

2. 事業実施【Do】		会計	一般会計	款	総務費	項	総務管理費	目	文化振興費
事業費／財源		令和4年度	令和5年度	令和6年度		主な 経費 (千円) 【R5 決算】	松山市民会館電気室高圧舞 台照明盤改修工事		3,559
予算 (千円)	事業費計	18,576	15,140	24,881			松山市民会館自動火災報知 設備受信機取替工事		932
	国費・県費	0	0	0					
	市債	0	0	0					
	その他	0	0	20,000					
	一般財源	18,576	15,140	4,881		松山市民会館大ホール屋上 南側雨漏り修繕工事		798	
決算 (千円)	事業費計	8,019	10,866			主な 取組 内容 【R5】	予防保全及び事後保全として、松山市民会 館、北条市民会館の設備改修工事を行う。 ○主な工事 松山市民会館 ・電気室高圧舞台照明盤改修工事		
	国費・県費	0	0						
	市債	0	0						
	その他	0	0						
	一般財源	8,019	10,866						
	(執行率)	43%	72%						
人役	正規職員	0.9	1.0	1.0		特記 事項			
	その他	0.0	0.2	0.2					
	合計	0.9	1.2	1.2					

3.事業評価(検証・改善)【Check・Action】

種類	指標名		区分	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標の達成又は未達成要因の分析 (令和5年度)	
	目指す方向性	単位							
活動指標	松山市民会館工事件数		目標	—	2	8	—	予定していた工事に加え、突発的な設備等の故障に対する修繕工事があったため、工事件数が多くなった。	
			実績	—	12				
	現状維持	件	達成率	—	600%				
			目標						
			実績						
			達成率						
事業評価	評価	その他							
	理由	予定していた工事に加え、突発的な設備等の故障に対し修繕工事を行うことで、市民が安心して施設を利用することができた。							
課題	松山市民会館は築59年を迎え、老朽化した施設であり、施設の維持保全のため、計画的に予防保全を図る必要がある。					今後の方向性	現行のまま継続	左記の理由	施設の適切な運営管理を行い、市民の円滑な利用に繋がっている。